

1-④-① 先生といっしょに

■対象：幼児～中学生の親 ■時間：80分程度 ■手法：ラベルワーク

学習のねらい [年度もしくは学期の始めに] より良いクラスづくりのために「保育所・幼稚園・学校」(担任)と「家庭」(保護者)が協力してできることを考える。

準備するもの ワークシート マーカー 付箋(大10枚/班・中20枚/人) 模造紙(1枚/班) たいやきカード 時計(ストップウォッチ)

時間	学習の流れ	留意点	準備
	<p>【はじめに】</p> <p>今日は、担任の先生から「こんなクラスをつくりたい」というお話をさせていただきます。その中で担任の先生と協力して、みなさんも一緒にできることを考えていきたいと思います。</p> <p>まずは、初めて会う方もいらっしやると思いますので、ゲームをしながら自己紹介をしたいと思います。</p>		
10分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>①ジャンケンチャンピオン(P96) ※ジャンケンの前に自己紹介 ※あいこの数が○回(任意の数)になった人から席につきグループを作る</p> <p>②たいやき自己紹介(P99)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・①は担任にも入ってもらう。 ・①は「勝負強い人(勝った数)」「優しい人(負けた数)」「人の気持ちが分かる人(あいこの数)」等を競い、ゲーム性を高める。 ・②は「尊重」のマナーの意識づけにする。 	たいやきカード
60分	<p style="text-align: center;">《講座の前にルールとマナーを確認しましょう》</p> <p>【中心のワーク】</p> <p>①担任の自己紹介を聞く ②担任のクラス経営に関する抱負、目標などについて聞く ③より良いクラスづくりのために保護者ができることを付箋に書く ④付箋に書いたことをグループで紹介し合い、模造紙にまとめる ⑤グループの代表が模造紙にまとめたことを紹介する ⑥担任のコメントを聞く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・①は「たいやき自己紹介」を活用。 ・④は実現の可能性にとらわれず、自由な発想で書くよう促す。 ・⑤は以下の例を参考に、状況に応じてまとめ方の指示をする。 <p>・模造紙の横軸に「難易度」(難しいこと→すぐに行えること)、縦軸に「重要度」(やった方がいいこと→すべきこと)の尺度をあらわす矢印を書く。</p> <p>・付箋に書かれたアイデアを「難易度」と「重要度」で評価する。</p> <p>・自分たちがやるべきことの優先順位や実施が困難なことについての解決方法などを話し合う。</p>	ワークシート 付箋 マーカー 模造紙
8分	<p>【ふり返りと分かち合い】</p> <p>①感想をワークシートに記入する ②グループの中で発表する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時間があれば全体に広げる。 	
2分	<p>【おわりに】</p> <p>いかがでしたか？ 学校や先生とつながることは、子どものよりよい成長に欠かせません。今日は、保護者のみなさんのお子さんを想う気持ちや、その想いに応じて学校や先生もがんばってくださることがわかりましたね。これから私たち保護者も協力して、一緒に楽しく子どもたちを育てていきたいですね。今日の話し合いをお互いに忘れず、みんなで取り組んでいきましょう。</p> <p style="text-align: center;">《講座の最後にルールとマナーを確認しましょう》</p>		

1-④-① 先生といっしょに

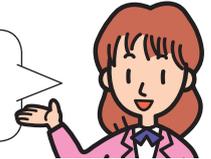
① 担任の自己紹介を聞く（3分）



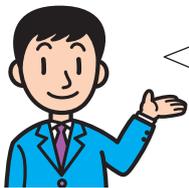
それでは〇〇先生にも性格カードをつかって自己紹介してもらいます。あわせて先生の趣味や特技なども紹介いただきます。
ワークシートを配りますので、メモ代わりにお使いください。

② 担任のクラス経営に関する抱負、目標などについて聞く（5分）

それでは先生から「どんなクラスにしたいのか」「どんな子どもたちに育てて欲しいのか」などの想いを話していただきます。



③ より良いクラスづくりのために保護者ができることを付箋に書く（7分）



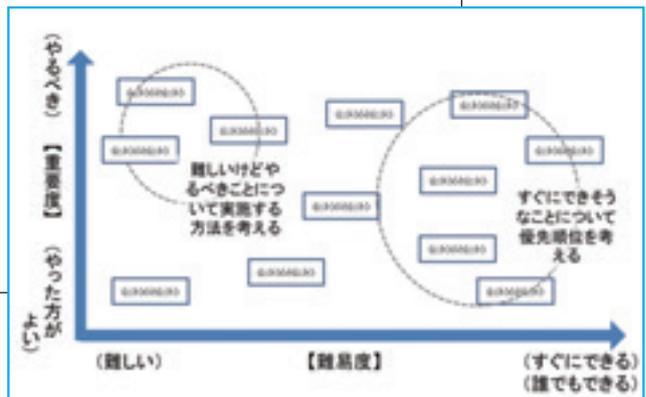
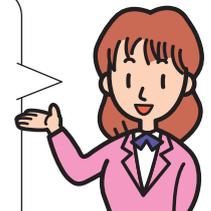
先生の想いをお聞きしました。これらのことについて、家庭も一緒になって取り組むとさらに効果が上がることがあるように思います。“ひとりでできること”から“みんなでやるべきこと”、“すぐにできそうなこと”から“できたらいいな”と思うことなど何でもかまいませんので、「より良いクラスづくりのために保護者ができること」について付箋に書いてください。1枚の付箋には1つのことを書いてください。時間は6分間です。

※考える視点：「わが子に対してできること」「よその子に対してできること」「担任とできること」「ひとりでできること」「他の保護者とできること」「地域の人も巻き込んでできること」「家庭でできること」「学級や学校に来た時にできること」「地域でできること」など

④ 付箋に書いたことをグループで紹介し合い、模造紙にまとめる（30分）

次にグループでの活動に入ります。まず、模造紙の下に横軸で「難易度」の矢印を書いてください。書き終わったら、最初の方が1枚の付箋を模造紙の上に出し、書いた意味を説明します。この時、難易度を考えて、適当な場所に貼ってください。もし、メンバーの中に似た内容の付箋があれば、説明をしながらその付箋の近くに置きます。似た内容の付箋がなくなったら次の人が別の1枚を出し、同じように説明をして貼ります。これを全員の付箋がなくなるまで繰り返してください。

（付箋を貼り終わったら）続いて縦軸に「重要度」の矢印を書いてください。グループで相談しながら、付箋に書かれたアイデアの重要度に応じて、付箋を上方向に移動してください。あわせて「難易度」も再確認しましょう。付箋の移動が終わったら、保護者ができることの優先順位や具体的な実施方法について話し合ってください。



⑤ グループの代表が模造紙にまとめたことを紹介する（10分）



グループで話し合ったことを順に発表してください。

⑥ 担任のコメントを聞く（5分）

みなさんが考えたことに対して、先生から考えや想いを語ってもらいます。



1-④-① 「先生といっしょに」 ワークシート

先生といっしょに

(担任の先生の話聞いて「思ったこと」「感じたこと」「考えたこと」などをメモしましょう。)



ワーク 「より良いクラスづくりのために保護者ができること」についてグループで話し合います。

(担任の先生とみなさんと、これから一緒に取り組むことをメモしておきましょう。)

ふりかえり 今日の話し合いをふり返って、感じたこと、気づいたことを書きましょう。

